

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2011年2月7日(月) NO.168

地域から明るい未来を作ろう

利己的では存続しないのため

身についた知識はからつきし役立たずで、必要な知識は永遠に身につかない。これはファストの言葉である。

一瞬に永遠を感じる瞬間を、誰もが経験している。人間は神と違って物理的な寿命があり、恒久的な時間を体験することが出来ない。有限の時間が無限に続くか

先義後利

ら永遠があるのではなく、続いてほしいと願う意志の彼方に、人はおのれの永遠を見ているのである。しかし、連続する時間を一瞬ずつ切り取った瞬間に永遠を、誰もが経験している。誰もが神の領域に接している。



組織の持つミッション(使命・理念)が社会に役立たなくなる時。時代に適合しなくなる。当然、時代に適合しなくなれば、潔くミッション自体を変更するか、その組織を解散をせざるを得ないのである。組織、会

社は、その覚悟がなければならぬのだ。そもそも義を忘れた日本人は、我が国には、ふさわしくないのである。

天才ゲーテは七十四歳の時

に一目惚れした十九歳の貴族の娘にプロポーズし、断られていた。ピカソ、岡本太郎、しかり、想い情熱は年齢ではないのです。おとこは全て夢の

途中なのである。卑しい私欲の人種達に対し、今日も憤りに心が打ち震える日々を過ごしている。命を懸けて戦う覚悟だ。



山も川も、人の心も動かぬものはない

一月十四日、金沢地裁の裁判官は訴えを、棄却しました。悪口の得意な、あの人は当然、誰かを精神異常というでしょう。しかし時代は必ず証明します。道義を外れて、不条理を立証出来ないそんな現実の日本は世界の三流国家以下なんでしょう。一千数百年の歴史の人民に、そんな稚拙な事実認定の文化は、存在しないのであります。

そして、もう会えない先人に、死んだ全ての日本人に涙を流しているのです。数百分の一秒で全ての判断をし検証、感じて、過去の判断に修正がないのです。それは、私心が無いからだと思います。結果、これまでの行動に誤りや、修正はありません。当然私には、完全に先がリアルに見えているからです。

男は全て産業廃棄物

空き管を含め、おとこはすべて消耗品だ。地上の生物おすは、おんなにとつて消耗品です。おとこの定めと納得すればよいだけです。いつの時代でもおんなたちの要請は、生き残ることです。そのため種のDNAはおとこよりわがままに伝わり長寿です。

また、出来るおとこには必ず裏方に、信じ支える「あげまん」がおいでます。不可能に対峙し、闘い、切り開く、おとこの信念を静かにサポートされておいでます。

信じてくれる人が一人いるだけで、おとこは大きな仕事を成し遂げるもの。どんな不条理や、冤罪にさえ耐え切る。おとこはそんな動物です。今は、それが分かるおんなが少ない時代だ。しかし、それよりも早く、おとこが自立すべきです。そして近くの「産廃」にレアメタルがありかもよ。